

新収蔵資料抄



最寄り図書館に取り寄せ可

英国初期印刷本研究への誘い 書誌学から文学・社会・歴史研究へ

向井 剛／著 勉誠出版 2021.10 228p 22cm
/ 020.23 / ネ 1X / 2021.12.10 受入 定価 ¥6,000

目次

はじめに 振り向けば未来—中世の本文意識

第1章 写本アンソロジーから刊本合冊
本へ—著者意識と「作品集」の誕生第2章 タイトルページの変容
—出版がサイオン修道院の壁を超える
『良心の訓令集』(The Directory of
Conscience, 1527年・1534?年) 考察第3章 標題『アーサーの死』(Le Morte
Darthur) の謎
—W. コープランド版(1557年)を探る第4章 領有されるテキスト
—The Book of St. Albans(1486年)と
The Gentlemen's Academie(1595年)第5章 編者の読みとテキスト固定
—空白のフォリオバングから読む W. シ
ン版(1532年)トロイルス物語第6章 印刷家と作家の協働
—『完徳への巡礼』(Pilgrimage of
Perfeccyon, 1526年・1531年) 考察第7章 初期印刷本期のテキスト編集
—チョーサーの R. ピンソン版(1526?年)『鳥たちの議会』第8章 キャクストン版『アーサーの死』
(1485年)と印刷用原稿のゆくえ第9章 ド・ウォード版マロリー(1498年)
の本文挿入と奥書
—読みのずらしと作品受容第10章 W. スタンズビー版マロリー
『アーサーの死』(1634年)
—本文から序文を読みなおす

注

図版出典一覧と再掲の謝辞

文献案内

初出一覧

あとがき

索引

資料概要

本書は、福岡女子大学学長の著者が、これまでの研究の中から書誌学や書物文化史に関係する論考を選びまとめたもので、英国の初期印刷本(文学、歴史、宗教、実用書)を対象として書誌学的考察が加えられている。

誤りや推敲が反映されるのは改版の時。無論、著作者の意向が前提。こうした私たちの感覚が全く通用しないことにまず驚かされる。

本書では、異なるエディションの比較や個々の本の丁合を調べることで、印刷本の黎明期に行われた、現代の感覚からすれば考えられないような驚くべき書物の改編をつまびらかにしている。当時は珍しくなかったそうした改編は、本書副題の「書誌学から文学・社会・歴史研究へ」のとおり、改編の意図や時代背景までも推し量れる資料になり得ることを教えてくれる。

構成が改められ、元々なかった物語が書物に挿入される。本文テキストに記された方言が別の地方の方言になる。編集者が物語の人物造形を変えてしまう。著者の名を語って出版者が自身の考えを結句にまとめる(第5章)。はたまた、著者の筆の進みや挿入されるはずの木版画の制作の進捗が印刷工房での作業工程と齟齬をきたして、著者の最終意図と違った形で出版される(第6章)。編集者はおろか、植字工もテキストの改編に参加する。道徳観から

「衣装を一切まとわぬ」は「優雅な衣装をまとった」と書き替えられる(第7章)、1頁に収まる文章量を少なく見積もったために、間隙を埋める文が植字工によって挿入される(第8章)…。初期印刷本はそれ自体に多くのドラマを抱えていることが明らかにされる。様々な同異から底本や種本を類推して派生の系統を探るくだりは、良質のミステリーで謎解きがされるような爽快感、達成感までももたらしてくれる。また、編集者の改編が、当時の読者の趣味や新古典主義的文学観の胎動を背景としているとする考察をはじめ、テキストが女性読者の台頭やステュアート朝時代の政治対立にも影響を受けているという示唆は、まさに本書副題に沿うものだろう。

なお、本書でたびたび取り上げられるチョーサーの『カンタベリ物語』は、2021年7月に悠書館から待望の共同新訳が発行されている。本書とあわせ、様々な話者の語りを25人の一流訳者の妙味に満ちた流麗な訳で楽しむことも勧めたい。

※『カンタベリ物語』悠書館
請求記号 /931.4/C36/ネ17
資料コード 17427600



本紙は、県立図書館が新たに所蔵した資料(図書資料・視聴覚資料)から、ぜひご利用いただきたいものを厳選してご紹介するものです。これらの資料は、禁帯出資料を除き、最寄りの図書館に取り寄せできます。

なお、本紙の内容は Web にも掲載しています。ご覧の際は右の QR コードをご利用ください。

また、内容の誤り等、お気づきの点があればお知らせくださるようお願いいたします。

群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町一丁目9-1 電話: 027-231-3008

